

は じ め に

私たちのまち大船渡は、温暖な気候と美しく雄大な自然を生かしながら、環境と産業が調和した豊かな住みよいまちへと発展してきました。

本市における生活環境は概ね良好に保たれていますが、私たちの豊かな暮らしを支える経済活動は、社会を飛躍的に進歩・発展させた反面、現在では地球温暖化の進行や海洋汚染、酸性雨などの地球規模の問題をはじめ、ごみの増大、生活排水等による水質汚濁などの地域的問題を顕在化させるに至っています。

こうした背景を踏まえ、今、私たちには、次の世代に深刻な影響を及ぼすことが懸念されるこれらの環境問題に対応し、環境への負荷が小さい持続可能な社会をつくるため、個々のライフスタイルを見直し、「低炭素社会」「循環型社会」への移行に向けて取り組んでいくことが求められています。

こうしたことから、本市では、環境基本条例や環境基本計画を中心に、長期的・総合的観点から環境の保全と創造のための各種施策や事業を進めており、さらには、「環境保全・自然との調和」を本市の四大ビジョンの一つとしても位置づけ、関連施策を積極的に推進しております。

環境への関心は日増しに高まっておりますが、快適な環境づくりのためには、市民や事業者、行政が共通認識に立ち一体的な取り組みを進めていくことが大切です。郷土の自然の恵みを守り育てながら、健全で豊かな環境を次の世代に継承していくため、本市ならではの環境づくりを進めて参りますので、今後とも関係各位のさらなるご理解・ご協力をお願い申し上げます。

本書は、平成 18・19 年度における本市の環境の現況や施策などを取りまとめたものであり、環境との関わりを理解いただくための一助となれば幸いです。

平成 21 年 3 月

大船渡市長 甘 竹 勝 郎